

提言
360°
アイ

「成功体験」力に転換

開 梨香氏(カルティベイト社長)

「でも、汗をかいて作った商品が売れることは喜びに変わる。これが次の活動を促すパワーにつながる。」

地域振興にかかわる際、重視するのは、官民間わず地域が主体となって動く「協働」の形。地域振興策はともすれば行政主導になりがちだが、結局、地域の人自身の心に響かない活性化策は動かない。国や県の支援も、地域主体の取り組みを意識したものに变化している。

北大東島は、500人余の島人みんなが家族的な関係のせいか、温かき、優しさはピカイチ。交流事業を進める上で最大の宝だ。より深い形で人との触れ合いを求める旅行者が増えている昨今、ちよつとしたことを手伝つてあげたり、どんな触れ合いでも旅人に喜びを提供できる。

最東端の島から見る日の出や外洋に沈む美しい夕日など島の日常も資源。航空便や宿泊施設の制約は、逆に見れば、人の出入りを自らコントロールできるというところもある。量産・安定供給できなくても売れる時代になったことで、離島の生きる道も広がっている。

1959年生まれ、石垣市出身。2000年に地域振興支援の有限会社「開」(現カルティベイト)を設立。07年4月から県教育委員。

「地域活性化専門家派遣事業」で、北大東村の特産品開発に携わった。タイリッゲットウの活用という希望を受け、「いつでも、誰でも、資金や設備がなくても、すぐできる」特産品として工芸品を提案した。今年3月、モノレール県庁前駅で開催したブチ離島フェアでは、ゲットウの手編みゴザに1万8000円の値が付き、新商品はすべて完売。発足した製作グループは今、「離島フェア2008」への出展という次のステップに向かっている。大切なのは「小さな成功体験」を積み重ねていくこと。特産品でも、体験ツアー

